

## CALS 情報ディレクトリ

### 1. CALS の全体像について知りたい人のために

『CALS の世界 — 競争優位の最終兵器—』  
末松千尋 1955 ダイアモンド社

恐ろしい副題がついていますが、内容は充実しています。近ごろ氾濫している「CALS 本」のなかから、1冊を選ぶとしたら、今のところこの本です。

『日経コンピュータ』1994.10.3.  
「特集 情報を軸に企業連携へ  
EI (エンタープライズ インテグレーション) 時代の到来」

『日経 CG』1995.5.  
「特集 CALS が実現する、データ変換のない企業連携」

『日経ビジネス』1995.6.12.  
「新・ビジネスの掟 デジタル革命を生き残る」

『週刊ダイヤモンド』1995.6.17.  
「CALS の全貌」

『日経情報ストラテジー』1995.8.  
「特集 CALS やらざば企業にあらず」

『ダイヤモンド ハーバード・ビジネス』1995.9.  
「特集 CALS の衝撃」

CALS に関する雑誌の特集記事は私の知るだけでもこれくらいあります。

### 2. 社会環境の中で CALS を考えたい人のために

『国際摩擦と法— 羅針盤なき日本』  
石黒一憲 1994 筑摩書房 (ちくま新書)

国際取引における法の問題について斬新な視角で議論した本だと思います。「安易なハーモナイゼーション論への警鐘」をならす本書は、国際取引の点から CALS を論じる場合に陥りやすい落としあなに気づかせてくれます。

『バーチャル・コーポレーション』  
William H. Davidow & Michael S. Malone 1992  
牧野 昇 監訳 1993 徳間書店

バーチャルコーポレーションの世の中がどのようなものになるか、というイメージを持たせてくれる本です。

### 3. CALS の技術的な側面を覗いてみたい人に

『EDI 入門— ビジネス・ネットワーク・プロトコル—』  
北澤博 1991 ソフト・リサーチ・センター (SRC ハンドブック)

『SGML 入門』  
Martin Bryan 1988  
山崎俊一 監訳 福島誠 訳 1991 アスキー出版局

『テレマティックの端末とプロトコル  
— CCITT T シリーズ勧告解説—』  
寺村浩一 他 1988 CQ 出版

『製品モデル表現とその利用技術 —STEP—』  
木村文彦・小島俊雄 編 1995 日本規格協会

いずれの本もある程度情報処理の技術的な基礎知識がある人にお勧めします。CCITT の解説書は、CALS に関係しているところは、そのごく一部なのですが、画像データの規格である G4 について解説した文書なので、掲載しました。最後の STEP に関する本は、STEP について解説した貴重な日本語文献です。

### 4. インターネット上の CALS 情報

インターネット上で、CALS の最新動向を知ることができます。

<http://navysgml.dt.navy.mil/cals.html>

あたりを出発点にして探してみると、アメリカの実情が良くわかります。(國澤直樹 記)